

「未来を創造し、社会に貢献する人材の育成」

令和元年度 柳津町立会津柳津学園中学校

学校だより

令和2年2月28日(金)発行 第 43 号 発行責任者:高橋 弘悦

もうすぐ中学生！ 新入生体験入学開催

2月27日、『新入生体験入学』を開催し、柳津、西山の両小学校から27名の児童が本校授業を参観しました。

本町では、小中連携を重視していますので、戸惑うことも少ないようには思いますが、それでも27人の児童は大変緊張した面持ちで会に参加していました。



「普段の中学生の授業を見てもらおう」と、小学生には1年生から3年生の3つの教科の授業を参観してもらいました。今では最下級生の1年生も、久しぶりの後輩の参加に急に大人びた様子になり、いつも以上の真剣な授業態度でした。

現1、2年生も間もなく進級。1年生は「先輩」と呼ばれる立場に、また2年生は最高学年になります。自覚を持って、今なすべきことに全力を傾け、4月に備えてほしいと思います。



中学生の正しい服装って…？



木材の豊かさを実感 森林環境学習

福島県では、森林環境税の導入に伴い、平成18年度から森林環境学習の推進事業を実施しています。この事業は学校教育等で森林と人との良好な関係を取り戻す手立てについて学習する機会を提供するというものです。



この学習の一環で、26日、1年生が木材加工に取り組みました。講師として、五疊敷 渡部技研工業の渡部貴洋さんをお迎えし、加工の基礎技術を学びました。1年生はこの指導を生かして、ステージの山台を作る予定です。木材の温かさを生かした作品ができるものと期待しています。

卒業式予行を行いました

26日、13日に予定している卒業式に向けて、予行演習を行いました。新型コロナウイルスの影響で、特別な対応も予想されますが、生徒たちにとっても、学校にとっても最も大切な行事です。



卒業式は、どこの学校でも同じような内容で行われますが、それだけにその年の学校の雰囲気如実に表れる行事といえます。本校では、「卒業式はバロメータ」と位置づけ、「私の姿を見てください!」と堂々といえる卒業式をめざしています。

予行演習では、さまざまな指導事項があることを想定して行いましたが、生徒たちの礼法や式歌、式に臨む姿勢、いずれも素晴らしく、生徒の成長がはっきりとわかるものとなりました。



コロナウイルス対応について

コロナウイルス対策で、27日安倍首相から全国の学校に対し、休業の要請がなされました。現段階で、県教委、町教委からも具体的な指示が来ておりません。対応策が固まり次第お知らせいたします。なお、予防対策には、十分なお配慮をお願いいたします。